

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
スポーツツーリズムの推進	スポーツツーリズムによる誘客促進	1	大澤駅伝競走大会支援事業
		2	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業
		3	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業
		4	ツール・ド・とちぎ参画事業
		5	スポーツ立市地域おこし協力隊員設置事業
		6	スポーツツーリズム推進事業
		7	さのマラソン大会開催支援事業
		8	国民体育大会開催準備事業
		9	国際クリケット場維持管理事業

事務事業名		大澤駅伝競走大会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山和之		
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15031	一般	10	5	1	大澤駅伝競走大会支援事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S26年度～ 年度		根拠法令 条例等	大澤駅伝競走大会運営費補助金交付要領					
	事業区分						任意的事業・義務的事业		任意的事業			
	事業区分						実施方法		直営			
事業区分						事業分類		支援事業				
事業区分						リーディングプロジェクト		該当				
事業区分						市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)				
大澤駅伝競走大会実行委員会に補助金を交付し、大会を主催する。 (大会の内容) ・本市の生んだ偉大な長距離ランナー大澤龍雄氏の追悼行事として昭和26年から継続して開催 ・県内外より例年100チーム超、延べ37,000人が参加する。 ・平成23年度大会から佐野市運動公園をスタート地点、中継所、フィニッシュ地点とする周回コースに変更。なお、令和元年度大会においては、競技場が改修工事のため競技場西道路をスタート地点、あかみ幼稚園北門前を中継所・フィニッシュ地点とする周回コースとした。 競走区分 一般・高校男子(42.195km)、一般男子(21.0975km)、一般・高校女子(21.0975km)、中学男子、中学女子に分けて実施。 ・競技運営は佐野スパルタ倶楽部が主管している。 ※令和元年度は台風の影響により中止となった。		大会日程：令和2年2月7日(日) ※令和元年度東日本台風(台風第19号)の影響により中止となった。 市の活動：大会中止の広報活動(ホームページ、郵送通知等)				
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議開催回数	回	7	5	-	5	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 参加チーム。	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
② (交付対象団体) 大澤駅伝競走大会実行委員会。	エントリーチーム数	チーム	189	181	-	190	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	① 陸上競技の普及と競技力向上を図る。 ② 地域の連帯の絆を強める。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		市内からのエントリーチーム数	チーム	35	28	-	30	
		市外からのエントリーチーム数	チーム	154	153	-	160	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	5	7	8	15	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		700	800	0	534					
	事業費計(A)	千円		700	800	0	534				0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	700	補助金	800	補助金	0	補助金	534		
	人件費	人	5	7	1	6						
のべ業務時間	時間	180	180	6	180							
人件費計(B)	千円	687	688	23	687					0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,387	1,488	23	1,221					0		

事務事業名	大澤駅伝競走大会支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和26年より郷土の生んだ偉大なランナー大澤龍雄氏の追悼を目的に始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	大会で使用している公道の交通事情等の理由により、コース変更を余儀なくされている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	選手輸送のバスをH18年度より廃止。ゴールを佐野市役所に戻してほしい(H18年度より運動公園ゴール)。出場資格の制限(レベルの均一化)。H23年度:運動公園周辺周回コースへの変更 H25年度:佐野警察署からコース変更について指示。出場区分の再検討(レベルの均一化)。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	中止となったため対象外。
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	参加するランナーの育成に繋がるだけでなく、市外からの参加チームが約7割を占めており、スポーツツーリズムの政策にも合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市のPR、参加者の安全確保及び市民の理解や周知等、市が行うのが妥当である。なお、競技の運営主体は佐野スパルタ倶楽部が行っている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本市の認知度アップや競技力の向上、さらには市民の健康増進と体力向上が図れるという点で対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	全国区のチームが参加することで、市内外へ大会開催を発信していくことができる。大会運営上仕方ないところがあるが、駐車場の規制とスタート時刻とのズレがある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	大会運営は、多数のボランティアで行われておりコスト削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	必要経費に応じた参加料を求めており、妥当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	佐野スパルタ倶楽部に事業を移譲する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 令和元年度は中止となってしまったが、ツーリズム面でも大きな成果を上げている事業なので、受入れ面を強化していく。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	参加団体が増えていることで、交通渋滞の解消、走者や関係者の安全確保が課題となっている。そのため、運営体制強化や新たなボランティア等の確保する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野市ゴルフ振興協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15087	一般	10	5	1	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	令和元年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事业			任意的事業
								実施方法			直営
								事業分類			参画事業
								リーディングプロジェクト			該当
								市長市政公約			該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
本市の観光資源・スポーツ資源である市内ゴルフ場と市ゴルフ協会と連携し、生涯スポーツ、競技スポーツとしてのゴルフ振興と「スポーツ立市」に資するゴルフツーリズムにより、交流人口の拡大、地域経済への波及を図る。	・佐野市ゴルフ協会及び市内ゴルフ場の代表と協議をすすめたが、振興協議会の設立には至らなかった。						
市ゴルフ協会、市ゴルフ場で、(仮称)佐野市ゴルフ振興協議会を設立し、協賛できる事業については市も参画して実施する。	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	ゴルフを活用したツーリズム事業として実施した大会・イベント等の数	事業			0	2	3

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 佐野市内のゴルファー (※体協資料を指標として活用)	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
② 市内ゴルフ場利用者	体協ゴルフ部 人数	人		664	646		
	市内ゴルフ場利用者数	人		421,841	452,586		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 新たにゴルフを始める人が増え、市内ゴルフ人口が増加する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
② 佐野市のゴルフ場を利用するゴルファーが増加する。	体協ゴルフ部 人数の増減	人			△ 18		
	市内ゴルフ場利用者の増減	人			30,745		

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

・生涯スポーツ、競技スポーツとしてゴルフの振興 ・スポーツツーリズムによる市外からの誘客増加に伴う地域経済の活性化。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%			41.5	48.0	50.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円							10			
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	10	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
									負担金	10		
	人件費	正職員従事人数のべ業務時間	人 時間					2 100		2 100		
人件費計(B)	千円		0	0	0	382		382		0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	0	382		392		0	0	

事務事業名	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	-----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	リーディングプロジェクトである「スポーツ立市の推進」に基づき、スポーツツーリズムにつながる事業として、令和元年に開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	以前と比較すると、ゴルフ人口は減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	今後の交流人口の増加に繋がる事業であり、スポーツツーリズムの推進に貢献する。施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	将来的には民間にゆだねられる事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	スポーツツーリズムの推進を意識しており、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	他市、他県からの誘客を促し、スポーツツーリズムの推進へ結びつき、交流人口を増やせる可能性はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	本事業はスポーツツーリズムを推進する一つ的手段であり、協議会に参画する事務費に相当する負担金のみであり、現状では削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市が事業負担するまでもなく、株式会社等の民間組織の役割が十分に発揮され、収益の見込めるスポーツ事業が開催できるような状況になれば、本事業の廃止が可能となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 佐野市ゴルフ協会や、市内ゴルフ場の依頼があれば、協議に参加して、市の立場で可能な関わり方を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	佐野市ゴルフ協会と市内ゴルフ場による振興協議会の設立
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15065	一般	10	5	1	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	関東小学生女子ソフトボール大会開催費補助金交付要領				
	任意の事業・義務の事業						任意の事業				
	実施方法						直営				
事業分類						支援事業					
リーディングプロジェクト						該当					
市長市政公約						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
関東小学生女子ソフトボール大会実行委員会に補助金を交付し、関東小学生少女ソフトボール大会開催を支援する。	(市の活動) 関東小学生女子ソフトボール大会実行委員会に補助金を交付し、会場の借用等の大会準備を行う。					
	(実行委員会の活動) 関東小学生女子ソフトボール大会(7/20,21)開催および運営。 トーナメント戦により、32チーム(市内1チーム)が出場した。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
参加チーム	チーム	30	32	32	32	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

参加チーム	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	参加チーム	チーム	30	32	32	32	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① スポーツツーリズムの推進 ② 佐野市の参加チームの技術力の向上	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	佐野市の参加チームの最高成績	位	初戦敗退	ベスト8	初戦敗退	ベスト8	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	5	7	8	15	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	52	52	52	52		
	事業費計(A)	千円	52	52	52	52	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	52	補助金	52	補助金	52
	人件費	人	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	6	6	6	6			
人件費計(B)	千円	23	23	23	23	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	75	75	75	75	0		

事務事業名	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	-----------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和63年に第1回大会が開催された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	補助金、交付金については見直しが行われ、減額になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本市を会場とし小学生を対象とした関東大会を開催することにより、技術力の向上と市民にスポーツの場を提供するとともにスポーツに関する興味、関心を高め、スポーツ振興の向上を目的とし、大会開催に係る運営費の一部を補助するので施策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	大きな大会の開催によって、市民のスポーツへの関心と意欲の向上、経済的波及効果がのぞめるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本市を会場とし小学生を対象とした関東大会を開催することにより、技術力の向上と市民にスポーツの場を提供するとともにスポーツに関する興味、関心を高め、スポーツ振興の向上を目的とし、大会開催に係る運営費の一部を補助するので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現在、年間を通して多くの大会が開催されており、予算や大会開催会場の限りがあるため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限でおこなっているため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	大会開催団体の運営経費の一部を補助するため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本実行委員会の運営が行政から完全に自立した場合。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		ツール・ド・とちぎ参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15078	一般	10	5	1	ツール・ド・とちぎ参画事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H28年度～R1年度			根拠法令 条例等	地域再生法 地方創生推進交付金制度要綱				
	実施方法						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業分類						リーディングプロジェクト		該当		
市長市政公約								2-③-3			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
<p>【参画する団体の活動】                  自転車競技の一流選手が参加する国際公認レースを県内で開催する。第4回となるR1年度は、ツール・ド・とちぎの最終レースとしてこれまでの集大成として各種広報活動も広く展開し、有終の美を飾るべく準備を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際自転車競技連合(UCI)の要請に基づき中止となった。</p> <p>【市の活動】                  負担金の支出                  レース開催周知、市内を通過する際の交通立哨</p> <p>【参画団体】: NPO法人 ツール・ド・とちぎの会                  健全な県民生活を営み、地域社会を構成する人々に対して、自転車文化の定着に関する事業を行い、交流人口の増加をもたらせ、県民をはじめとする人々が、元気で健康な連帯感あふれる地域づくりに寄与することを目的とする団体。</p>	新型コロナウイルス感染症の拡大により、大会中止(R2.3.16発表) 以下予定されていた大会概要 令和2年3月20日(金) 那須烏山市(なががわ水遊園周辺)個人タイムトライアル 21日(土) 那須町(那珂川河畔公園)周回レース 22日(日) 小山足〜宇都宮市(ラインレース)佐野市通過なし ※栃木県が主体となり平成29年度地方創生推進交付金の採択を受け、平成29年度から令和1年度の3か年を事業期間としている。						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	負担金支出件数	件	2	1	1		
	会議出席回数	回	0	3	2		
	レース立哨	回	0	1	0		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

関東地方及び近県住民 (1都6県+山形県+福島県+新潟県+富山県)  (負担金の支出先) ツール・ド・とちぎ実行委員会	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	関東地方及び近県の人口 (総務省:1/1住基台帳)	千人	49,696	47,599	43,464		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

大会を観戦者の誘客増を図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	観客動員数(全県:県発表値)	人	71,900	79,000	0		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

大会をとおしての経済波及効果を高める。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	経済波及効果(全県:県発表値)	億円	11.1	11.3			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	272		350		350					
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	400		350		350					
	事業費計(A)	千円	672		700		700		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	672	負担金	700	負担金	700				
人件費	人	1		2		1						
のべ業務時間	時間	20		500		20						
人件費計(B)	千円	76		1,908		76		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	748		2,608		776		0		0		



事務事業名	ツール・ド・とちぎ参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国の政策として地方創生が進められる中、栃木県が中心となり県内全市町が参加する広域連携の事業として、平成28年度に計画された。その目的は、本件ならではのスポーツツーリズムモデル構築、県内全域の活性化、「自転車先進県」としてのブランド力向上である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や平成22年8月「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、また2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催が決定されたことにより、大きな経済効果が期待されるなどスポーツを取り巻く環境は大きな変化してきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持につき対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ツール・ド・とちぎの開催は、栃木県全体でのスポーツツーリズムに繋がる大会と考えられるので、市にとっても政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 県内各地を走ることにより、競技団体や警察、立哨従事の地域住民との調整には、県や自治体が関与しなければならないため市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 地方創生、地域活性化に寄与するものとして、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 本事業を本市の活性化に寄与させるには、実行委員会が決定するコースによる部分が大きくなるが、どのようなコースであったとしても、本市としてどう参画することが目的達成に向けて効果的か検討・実行する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 県内全市町、推進交付金の計画で決まった額であり、負担金を削減することは不可能である。人件費については、大会通過がなければ負担金支払い、会議参加のみと最小限となっている。コース設定された場合は、レースの安全確保のため、むりな削減は困難である。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	地方創生推進交付金の計画期間である平成31年度までは、レース開催予定であるが、その後の予定は決定されていない。全県下全市町参加という条件がなくなれば不参加も可能となる。(終了となる)		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×		
				コスト																				
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
低下		×	×																					

事務事業名		スポーツ立市地域おこし協力隊員設置事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15081	一般	10	5	1	スポーツツーリズム地域おこし協力隊員設置事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H29年度～R1年度			根拠法令 条例等	佐野市地域おこし協力隊員設置要綱				
							事業区分		実施方法		直営
								事業分類		その他市民に対する事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
○地域おこし協力隊員を配置しスポーツツーリズム事業を推進する。 ○協力隊員の主な業務 ①大会・イベントの誘致、企画、運営 ②スポーツ関係のデザイン、プロモーション、コンサルティング等 ③自社メディア(ウェブサイトの)運営 ④スポーツ施設の有効活用及び事業活用		・協力隊員の能力を活かして、「スポーツ立市」を持続的かつ効果的に推進するための方策を検討し、実現化に向けた活動を展開した。 ・㈱さのスポーツキャピタルの代表を兼務し、スポーツに対する関心・機運を高めるPR活動(女子高生社長事業)や、佐野市に所縁のあるスポーツ関係者のインタビュー動画の作成を行った。 ・プロスポーツ団体等の開催事業との連携 BCリーグ公式戦、平成31年春巡業 大相撲佐野場所						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		協力隊員の採用	件	1	1	1		
		協力隊員の活動日数	日	122	244	180		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

採用した地域おこし協力隊員		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		地域おこし協力隊員	人	1	1	1		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		協力隊員によりスポーツツーリズム事業が展開され、多くの参加者・関係者が関わり、交流人口の増加につながった。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
				関わった事業・イベント・合宿数	件	5	7	6		
				関わった事業・イベント等の参加人数等	人	6,000	7,000	6,500		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

・スポーツツーリズムに結び付くスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致が増加する。 ・プロスポーツ団体等と連携し、市内施設での試合やイベント等の開催が増加する。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	8	7	5		
		プロスポーツ団体と連携したツーリズム事業数	件	1	1	2		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,825		3,990		4,041					
	事業費計(A)	千円	1,825		3,990		4,041		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	996	報酬	1,494	報償費	2,496				
			共済費	157	共済費	237	役務費	16				
			旅費	15	報償費	624	使用料・賃借料	749				
			需用費	69	旅費	17	負担金・補助金	780				
			役務費	61	需用費	53						
			使用料・賃借料	527	役務費	17						
					使用料・賃借料	1,056						
		補助金	492									
人件費	人	3		3		3						
のべ業務時間	時間	172		244		244						
人件費計(B)	千円	656		932		931		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,481		4,922		4,972		0		0		

B表(事後評価シート)

事務事業名	スポーツ立市地域おこし協力隊員設置事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	---------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・スポーツを軸にしたまちづくりを実現するため、スポーツを目的とした交流(スポーツツーリズム)の促進による地域の活性化とスポーツ振興を図るため、平成28年2月に民間事業者等と連携したスポーツツーリズム協会を設立した。 ・平成29年10月から、スポーツツーリズム協会の事業を具体的にすすめる担い手として、地域おこし協力隊員を任用している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・スポーツ立国戦略や東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、スポーツを目的に誘客を図るスポーツツーリズムに関心を持つ自治体が増えており、事業誘致等での自治体間の競争は激しくなっている。 ・地方創生(地域の稼ぐ力の向上)の推進を目的に「地域おこし協力隊制度」が生まれ、全国で活用されている。 ・令和元年東日本台風被災、翌年の新型コロナウイルスの影響の影響により、10月以降、スポーツイベント等を実施できる状況にない
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	地域おこし協力隊制度を活用し、スポーツ大会等の誘致・実施による賑わいの創出や、スポーツ目的で訪れる人が増えることで地域活性化につなげていくことが期待されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	スポーツツーリズムの推進を図るため、地域おこし協力隊員の能力、ノウハウの活用方法について検討する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	現協力隊員は、官民が一体となったスポーツツーリズムの戦略的推進に欠かせない人材であり、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	スポーツツーリズムの推進は、市とスポーツ団体、民間企業等が適切な役割分担のもと、スポーツを手段として公民連携による地域の活性化・地方創生につなげていくものである。民間活力を最大限に活用するため、民間の巻き込み力のある協力隊員に委ねるものとした。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	地域おこし協力隊員の活動が、本市のスポーツツーリズムの推進に直結するので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	地域おこし協力隊員の活動が拡充することにより、スポーツツーリズムによる誘客促進やスポーツ団体の活動向上をが図られ、地域の活性化に繋げていく効果が生まれる。しかしながら、(株)さのスポーツキャピタルの代表を兼務した非雇用隊員の在り方(一人二役)が、隊員としての活動の成果向上を困難にしている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	(株)さのスポーツキャピタルによる収益事業と切り離し、協力隊員としての成果・実績として検証すると、その成果は十分とまでは言えず、より高い効果が求められる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	大会イベント参加者・チームで市外、県外から多く参加があれば、本市での経済波及効果を生み出すことにつながる。スポーツイベント参加者またはチームという小さい枠にとらわれてしまうが、受益者負担は適正である。また併せて、個人やチームは大会へ参加するため、参加料を支払っていることでも適正と思われる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 非雇用隊員による(株)さのスポーツキャピタル代表との兼務による課題点、及び、令和元年東日本台風被災と新型コロナウイルスの影響によるスポーツイベント等の実施困難の状況を踏まえて、令和2年度における事業は休止とする。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
休止 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		スポーツツーリズム推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係		担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業			継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業			実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15085	一般	10	5	1	スポーツツーリズム推進事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市スポーツ立市推進基本計画						
							市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
						任意的事業・義務的事業			任意的事業			
						実施方法			直営			
						事業分類			講座・教室・イベント等開催事業			
						リーディングプロジェクト			該当			
						市長市政公約			該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
スポーツツーリズムによる誘客促進を図るため、開催を担う競技団体等と連携し、市外からの誘客を見込めるスポーツ大会やイベントを誘致・開催し、大会を盛り立てる。	・BCリーグ公式戦(野球) 4/20、21 運動公園野球場 ※ ・平成31年春巡業 大相撲佐野場所 4/22 運動公園体育館 ※ ・第6回石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会 5/18、19、25 運動公園野球場外 651人(26チーム)参加 ・第8回SBIカップ(クリケット) 6/15～16 佐野市国際クリケット場 500人(30チーム)参加 ・FLVチャレンジャーズディヴィジョン(パレーボール) 2/8～9 アリーナためま 198人(22チーム)参加 ※ プロスポーツ団体連携事業					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
ツーリズム事業として実施したスポーツ事業(大会・イベント等)の数	事業	5	5	5	2	5

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①スポーツ大会やスポーツ合宿の主催者 ②スポーツを行う又は興味関心のある団体や個人	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	日本体育協会の競技団体数	大会	59	59	59	59	59
	市人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①スポーツ大会や合宿を本市で実施してもらう。 ②スポーツを目的に本市に来てもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	宿泊者のあるスポーツ大会又は合宿の数	件		36	46	30	40
	市外からのスポーツ大会又は合宿の参加者数	人	6,750	6,577	4,974	3,000	7,500

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

・スポーツ施設は、スポーツツーリズムを主体的に供用する。 ・プロスポーツ団体等と連携し、市内施設での試合やイベント等の開催が増加する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	スポーツツーリズムを主体にしたスポーツ施設数	件	2	2	3	3	3
	プロスポーツ団体と連携したツーリズム事業数	件	1	1	2	1	2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		200						
	一般財源	千円		219	499	242				
	事業費計(A)	千円		419	499	242	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償物資費	67	委託料	199	委託料	242		
			消耗品費	139	交付金	300				
作成委託料			213							
人件費	人		2	2	2					
のべ業務時間	時間		300	300	300					
人件費計(B)	千円		1,145	1,146	1,145	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,564	1,645	1,387	0	0			

事務事業名	スポーツツーリズム推進事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市総合計画・後期基本計画(平成26年度～平成29年度)に、リーディングプロジェクトである「スポーツ立市の推進」を新たに掲げ、本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や平成22年8月「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、また2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催が決定されたことにより、大きな経済効果が期待されるなどスポーツを取り巻く環境は大きな変化してきた。 また、令和元年東日本台風被災、翌年の新型コロナウイルスの影響の影響により、10月以降、スポーツイベント等を実施できる状況にない
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	スポーツ大会、スポーツイベントを誘致し、もてなしや受け入れ体制の向上などで今後の交流人口の増加に繋がる先導的役割を果たす事業である。また、本事業はスポーツツーリズムの推進に欠くことができない事業であり、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	パイロット事業としては、スポーツ大会、スポーツイベントを誘致するには、その大会イベントを主催する団体へのアプローチ、連絡調整が必要であるが、将来的には民間にゆだねられる事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	スポーツツーリズムのモデル大会を対象としており、それらの大会の成果が、大会参加者数の増加に現れるので、対象・意図は妥当である。参加者・観戦者を対象にしたアンケート調査等の実施については、今後検討していきたい。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	他市、他県からの参加チームがあるような大会を今以上に誘致し、スポーツツーリズムの推進へ結びつき、交流人口を増やせる可能性はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	本事業はスポーツツーリズムを推進する一つの手段であり、予算は大会運営に関わる費用に充当されている。支援の対象とする大会、イベントを増やす目標もあり、現状では削減余地はない。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	大会イベント参加者・チームで市外、県外から多く参加があれば、本市での経済波及効果を生み出すことにつながる。スポーツイベント参加者またはチームという小さい枠にとらわれてしまうが、受益者負担は適正である。また併せて、個人やチームは大会へ参加するため、参加料を支払っていることでも適正と思われる。
	現在の受益者負担は適正である		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
市が事業負担するまでもなく、株式会社等の民間組織の役割が十分に発揮され、収益の見込めるスポーツ事業が開催できるような状況になれば、本事業の廃止が可能となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 令和2年度においては、事業費としての予算は無いが、担当係として事業に取り組む。 コロナ禍におけるスポーツ大会開催等の実施や観光誘致のあり方を踏まえつつ、可能な範囲でより多くの大会等の誘致を目指す。 また今後は、株式会社等の民間組織との連携や事業の移管を模索するものとする。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	大会イベント等の誘致・開催における新型コロナウイルスへの感染防止等の対策の実施 民間組織等を活用した収益性の向上と連携
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		さのマラソン大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15036	一般	10	5	1	さのマラソン大会開催支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	さのマラソン大会交付金交付要領					
							事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		支援事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
・さのマラソン大会組織委員会に対する交付金交付事務 ・市はさのマラソン大会組織委員会事務局として、コース設定に係る警察協議、大会開催のPR、参加者募集、大会の開催準備・運営の全般に携わる。  (令和元年度第15回大会の内容) ・フルマラソンをメインとして計23種目を設定 ・本市スポーツの最大イベントとしてスポーツによる賑わいづくり、地域の一体感の醸成や市のイメージ向上に資する。 * 令和元年度は台風の影響により中止となった。		主な事務：交付金支出手続き(4月)、会議開催、各イベント委託業者と契約・調整、各種申請(4～12月)、体協、スポーツ推進員、市職員打合せ、大会準備・運営(12月) 主な会議：組織委員会(4月、11月)、栃木陸上競技協会打ち合わせ(6月) 大会開催日：令和元年.12月8日(日) ※令和元年東日本台風(台風第19号)の影響により中止 申込件数：2,963件(県内1,254うち市内785、県外1,709)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議開催回数		回	10	9	3	4	
競技種目数		種目	25	25	23	-	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① マラソン愛好家	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
② (交付対象団体) さのマラソン大会実行委員会	参加(申込)件数	件	3,288	2,970	2,963	-	
	参加人数	人	3,588	3,287	-	-	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① スポーツ振興を図る。 ② 参加者の健康増進を図る。 ③ 大会の円滑な運営を支援する。 ④ また、おもてなしの心や佐野ブランドの紹介等を通して、市のイメージアップを図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
大会参加者の満足度(ランネット評価)(100点満点)	点		83.7	69.6	-	-	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件		5	7	8	15	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円					167					
	一般財源	千円	3,900		7,730		8,433		0			
	事業費計(A)	千円	3,900		7,730		8,600		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	3,900	交付金	7,730	交付金	8,600				
人件費	人	5		7		3		2				
のべ業務時間	時間	1,000		1,000		1,200		600				
人件費計(B)	千円	3,816		3,821		4,578		2,289		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,716		11,551		13,178		2,289		0		

事務事業名	さのマラソン大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	----------------	-----	---------	-----	----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年に安佐合併を記念し、3つの大会を1本化し、フルマラソンをメインとした大会を開催する。また、ゲストランナーとして松野明美選手を招待し盛大に始まる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	マラソン大会はここ数年開催が増加し、乱立状態にある。特色ある大会が選ばれる傾向になっており、日本陸上競技連盟公認取得を目指しコースを変更した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	他大会との違いを明確にし、特色ある大会にしてほしいとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	参加料金の値上げをした。また、事業収入の確保のため協賛確保に努力した。コースを(公財)日本陸上競技連盟公認コースとしていくことで、参加者を増やす方向で準備を進めた。
事業のやり方改善(コストの見直し)	
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつきが見直しの余地がある	理由・改善案	市民1スポーツの推進のため、フルマラソンから2kmコースまでの23部門を設定し、幅広く参加者を募り、市民の健康増進と、体力の向上、市外参加者には市のイメージアップを図っており結びついている。今後、フルマラソンについて公認コースにすることで、さらなる評価アップにつなげていく必要がある。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	長期の準備期間(約9ヶ月)を要し、大会当日は多くの関係団体の協力を得ているため市が主催することが妥当である。また、フルマラソンの公認化に向けて、陸上関係者に競技の運営を委ねていかに得ないが、総括として行政が携わなければならない開催できない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民の健康増進と体力の向上、市外参加者には市のイメージアップを図っており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	準備の効率化、負担軽減の検討及び長時間公道を使用するにあたり、交通渋滞、走者や関係者の安全確保の検討。参加者・応援者の駐車場の確保などが必要となる。また、市民による大会の盛り上げを図るための方策も必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	個人で参加するマラソン、チームで走る駅伝ともに、公道を利用し、多くの市民に声援をはじめ大会運営に協力していただくのは変わらない。ロードレースのまちとして、市民協力を得ながら街中を盛り上げる工夫を検討していきたい。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	大会運営にあたり警備等の経費がかさみ、これ以上のコスト削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	本年度よりフルマラソンの参加料を値上げし、近隣の大会と比べても適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	スポーツ実施率の向上、スポーツ観光によるまちづくりを推進するために終了できない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) : 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) フルマラソンの公認コース・公認大会に向けて取り組むものとする。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	警察等との交通渋滞、安全対策に関する協議と市民への周知。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名	国民体育大会開催準備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	国体準備課	担当係	総務企画係	担当課長名	青木 智	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					実施計画事業・一般事業		実施計画事業	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					任意的事業・義務的事業		任意的事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15083	一般	10	5	1	国民体育大会開催準備事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	平成27年度～令和4年度		根拠法令 条例等	国民体育大会開催基準要領				
						実施方法		直営		
						事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
○2022年栃木国体にて本市で開催するバレーボール、ラグビー競技、デモンストレーション競技、全国障害者スポーツ大会開催に向けての準備 ○主な事務スケジュール H27 本市開催種目決定、開催予定施設決定 H28 開催種目先権市調査及び中央競技団体視察受入等 H29 準備委員会設立発起人会発足、施設整備、開催準備業務計画 H30 市国体準備委員会設立、啓発事業、施設整備推進 R1～R3 市準備委員会→市実行委員会に改組 各専門委員会(競技式典、輸送交通、宿泊衛生、総務企画、常任委員会)と連動した関係機関との事務調整 国県民運動と連動したPR活動 ①競技会場設計、PR看板、横断幕、カウントダウンボード ②先権地開催運営状況視察 ③大会運営ボランティア募集、研修、配置 ④花いっぱい運動、クリーンアップ運動等の推進 ○国体と併催される全国障害者スポーツ大会の調整		○第77回国民体育大会にて本市で開催するバレーボール、ラグビーフットボール競技、デモンストレーション競技開催に向けて準備 ・R1.5.31第77回国民体育大会佐野市準備委員会第1回常任委員会開催 ・R1.8.19～22 // 第1回総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通専門委員会を開催 ・R1.8.28 // 第2回常任委員会、第2回総会、いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会佐野市実行委員会第1回総会を開催 ・R1.11.4 国体開催前3年前イベント出店 ・R2.2.17 佐野市市内推進本部第1回会議開催 ・R2.3.26・27佐野市実行委員会第1回総務企画、宿泊衛生、輸送交通専門委員会を開催					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
市国体準備・実行委員会(各専門委員会を含む)会議の開催回数		回	0	2	11	8	10
大会啓発・PR活動事業数		回	0	2	3	4	4
リハ大会開催回数		回	0	0	0	0	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①市民 ②県民 ③競技団体(バレーボール、ラグビーフットボール、クリケット、ドッジボール)	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	佐野市民	人	120,018	119,348	118,450	117,706	117,706
	栃木県民	人	1,962,433	1,953,852	1,943,946	1,934,857	1,934,857
	参加する競技団体	団体					2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

本市開催競技実施を啓発し、大会等に関する協力団体・協力者を募る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	準備(実行)委員会協力団体・事業者数	団体・社	2	2	2	2	4
	学生・市民ボランティア参加者数	人	-	-	-	-	450

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

多くの来場者を迎え入れ、各競技会を滞りなく開催し、成功させる。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	とちぎ国体ボランティア登録者数	人	-	-	-	50	150

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円				6,000			
	一般財源	千円		674	5,021	2,118	31,234		
	事業費計(A)	千円	0	674	5,021	8,118	31,234		
事業費の内訳	項目		事業費	項目		事業費	項目		事業費
		千円							
	旅費		74	旅費	0	交付金	8,118	報酬	4,000
	需用費		0	需用費	21			手当等	864
	交付金		600	使用料	0			共済費	170
				交付金	5,000			旅費	1,200
								交付金	25,000
	正規職員従事人数	人	3	4	3	5	7		
	のべ業務時間	時間	200	1,891	5,673	8,982	13,237		
	人件費計(B)	千円	763	7,226	21,642	34,266	50,499		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	763	7,900	26,663	42,384	81,733		



B表(事後評価シート)

事務事業名	国民体育大会開催準備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	国体準備課	担当係	総務企画係
-------	--------------	-----	---------	-----	-------	-----	-------

## (3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成25年に平成34年栃木国体が内々定され、平成26～28年に各競技種目の会場地が選定された。本市においては、第1次選定においてH26にラグビーフットボール全種別、第2次選定においてH28に成年男子バレーボール会場として内定を受け、施設整備も含めた具体的な準備が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・2019ラグビーワールドカップ、2020オリンピック・パラリンピック(一年延期が見込まれる。)がとちぎ国体前にあり、その機運を国体につなげていこうと高まっている。 ・「国体改革2003」により、大会規模の適正化(選手削減)、既存スポーツ施設の有効活用、企業協賛制度の導入などの改革が図られてきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・ラグビーフットボールに関しては、民間の応援団体の支援活動があり、国体に向けた盛り上げが期待されている。国体開催の取組みが、スポーツツーリズム事業として期待されている。

## (4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	・中央競技団体の視察を受けた施設整備関連は、国体開催施設整備事業に引継ぐものとし、市を挙げて国体を受け入れる準備を具体的に始める段階となり、実行委員会を立ち上げ、各専門委員会を開催し基本計画に基づく要項などの策定を行い準備を行う。
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	
事業のやり方改善(コストの見直し)	

## 2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ・中央競技団体の視察を受けた施設整備関連は、国体開催施設整備事業に引継いだ。市を挙げて国体を受け入れる準備を具体的に始める段階であり、実行委員会、常任委員会、各専門委員会を開催して体制を整えている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 ・県国体準備委員会が定めた県・市の業務分担・経費負担等の基本方針により、会場地市町村の役割が定められており、市町村が主体となって市民各団体等により実行委員会を組織し進めていくため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 ・スポーツ基本法により主催者、参加者が定められている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 ・国体開催に向け、先催市の例を参考に進めて行くことになるが、多くの市民の協力を得ながら、本市ならではの取組みを検討することで、より大きな成果を見出すことができる。国体開催後も、レガシーとして引き継いでいくことで、地域経済への波及効果も大きく期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 ・ハード事業とソフト事業で建設コンセプトの共有、大会運営面からみた施設運営の有り方などを検討するうえで、連携は必須であるが、事務的には棲み分けしたい。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	国体施設整備事業
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 ・現状では、必要な準備範囲が定まっておらず評価できないが、開催年に近づくとともに準備に要する経費や運営人員が増加・増員していくため、削減の余地がない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 ・佐野市で開催する競技に対する必要な負担であり、受益者負担を求める事業ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	・国体は、県が開催の申請をして、日本スポーツ協会理事会において開催決定される事業のため廃止・休止は出来ないが、令和4年国体を開催し、終了後報告書を取りまとめ、実行委員会の解散をもって終了となる。	

## 3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	市を挙げて実施するイベントで盛り上げることができるか。市民団体、事業所も含め国体を盛り上げる意識が浸透するか。国体がいづ開催され、どんなものなのか、何をどうすればいいのかが良く分からないといった市民、企業、団体、ボランティアなどが想定されるので、今後、国体・大会の意義やそれぞれの具体的な活動について効果的な周知方法及び市民運動により、意識の高揚と主体的に参画することを促し、市民協働の国体・大会を目指して行く。
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	コスト	
国体・大会開催競技競技関係団体等と連携を取ることはもちろんのこと、市民が中心となった運営、おもてなしが出来るよう、国体開催までに様々なイベントや体験会、市民運動を実施するための道筋を立て、市民の機運の醸成を図っていく。組織の一部だけでは難しく、全庁的な組織や民間活力、そして市民が一体となって準備を進めなければならない。今後は、市民団体と連携しながら市民運動を展開し、庁内推進本部から庁内実施本部への移行など組織体制の強化及び市民への周知・参画を効果的に行っていくことが必要である。	削減 維持 増加	
	向上	○
	維持	×
	低下	×

事務事業名		国際クリケット場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	村山和之
	施策	1 スポーツツーリズムの推進						新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進						実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15353	一般	10	5	2	国際クリケット場維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H25年度～		根拠法令 条例等	佐野市国際クリケット場条例 佐野市国際クリケット場条例施行規則		任意の事業・義務の事業		任意の事業
							実施方法		直営		
							事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の維持管理。</li> <li>・施設の修繕。</li> <li>・光熱水費、委託料等の支払い。</li> <li>・平成28年4月に佐野市国際クリケット場条例を施行し、呼称を「佐野市国際クリケット場」に変更、平成29年度より国際クリケット場維持管理事業。</li> <li>・「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトの対象施設となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要と同じ</li> <li>・利用料の見直しを行い、条例の改正を行った。</li> </ul>					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
利用者数	人	3,223	6,677	10,498	10,000	
修繕件数	件	1	1	5	4	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民。</li> <li>・国際クリケット場</li> </ul>	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	国際クリケット場	箇所	1	1	1	1	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。</li> </ul>	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	利用者数	人	3,223	6,677	10,498	10000	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致、スポーツツーリズムを主体的に供用、市内施設での試合やイベント等により集客する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	5	7	10	15	20
	スポーツツーリズムを主体にしたスポーツ施設数	箇所	2	2	2	3	3

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	98		163		316		200			
	一般財源	千円	5,949		16,453		16,965		18,565			
	事業費計(A)	千円	6,047		16,616		17,281		18,765		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	1	需用費	3,072	需用費	2,572	需用費	4,993		
			需用費	1,781	役務費	151	役務費	153	役務費	154		
役務費			211	委託料	13,394	委託料	13,287	委託料	13,618			
委託料			3,680			工事請負費	1,269					
使用料及び賃借料			375									
正規職員従事人数	人	2		2		2		2				
のべ業務時間	時間	100		200		200		200				
人件費計(B)	千円	382		764		763		763		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,429		17,380		18,044		19,528		0		

事務事業名	国際クリケット場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成25年4月、県立田沼高校が廃校になり、学校開放事業ではなくなったことから、運動施設として整備し、広く市民に活用してもらう。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・身近に環境の整った運動施設が整備されることによりスポーツ活動が盛んになる。 ・平成28年4月から国際クリケット場になったことで、クリケット以外の利用がほぼなくなった。 ・「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・クリケット協会等から、国際クリケット場としての維持にはさらに費用が必要との要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト内での運営方法の検討を行った
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある		理由・改善案	・旧田沼高校は県から市に移管となり、市の公共施設となったことから、市が事業を実施することが妥当であるが、「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトにおいて、運営について他に委ねることを検討。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設であり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある		理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトにより、大きな成果向上が見込まれる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	国際クリケット場として、必要な最低限の費用であり、今後の利用の状況によっては費用の増額も見込まれる。「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトによる運営方法により、コストの削減は図れると考える。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	条例を改正し、適正な受益者負担を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
国際クリケット場がなくなると、					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト内での運営方法の見直し	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					